学校番号	T0301

令和８年度　（専）家庭科

教科	（専）家庭	科目	課題研究	単位数	2 単位	年次	4 年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・2 年生までに学んだ家庭総合の内容を踏まえ、各自の生活を振り返り、持続可能な社会を実現するための衣・食・住など様々な身近な問題について考え、知識や情報をもとに解決策を模索できるようにしましょう
・衣生活からは機能性と素材などについての理解を深めるとともに、実習を通して各自の衣服のリフォームなども視野に入れ、ミシンの効率の良い使い方を考えていきましょう。
・調理実習から身近な食材を残すことなく調理することも学び、食材の旬や家族全員の食事について、各自の嗜好などに留意して献立を作ることができるようにしましょう。
・住生活からは予算にあった快適な住まいの方法から間取り図などが考えられるようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
　人生設計とお金の関係や被服素材などの知識を深めそれぞれの特徴を理解し実践する。
【思考力、判断力、表現力等】
日常生活を多方面からの用途や利用方法を調べ、実践し他者との意見交換なども積極的に行うことができる。作品に自分らしさの工夫をして、完成させる。
【学びに向かう力、人間性等】
新旧の事柄について興味関心を示し、協力や助力を惜しまず、主体的に学ぶ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	衣・食・住・保育・消費・経済などについての知識や技能をさらに深め、家庭・社会など、いろいろな場面や状況に応じて適切に活用することができる力を身につけ実践できる。	家庭・地域・社会など生活の中から課題を設定し、解決策を模索践し、評価及び改善し、考察を根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	より良い社会の構築を目指し自ら学び、生活の質と地域社会の課題を見出し、主体的に取り組み、改善策を構想し自分や家庭、地域生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	済的に自立する	将来のプランニング 人生設計とお金 リスク管理と資産形成	a:人生設計に必要なお金について具体的なお金について理解している。 b:将来に必要となるお金について調べ、自分の考えをまとめることができる。 c:リスク管理と財産形成に関心を持ち自ら学ぼうとしている。	レポート(小テスト)	将来のお金の必要性について発表	調査に主体的に参加しレポートを作成
	身近なリフォーム	・着なくなった衣服の行方を考える ・自分が着ている衣服はどこ替え飽きたものか調べる(タグなど) ・SDGs 環境に配慮した衣生活について考える ・刺し子の由来を学び、日常生活で生かす被服実習	a:私たちの衣生活は環境や世界とつながっていることを認識し、自分たちの行動がかかわっていることを理解し、古着のゆくえを調べ、考察することができる。 「刺し子について理解しトートバックを作る。 b:現在の衣生活を取り巻く現状から、自分の生活を振り返ることでかだいを見つけることができ、みんなで意見交換ができる。生活に根差した模様を考え図案を作る。 c:環境に配慮した衣生活に関わるキーワードとその内容を知り、自分にできる事から生活に取り入れようとしている。 トートバックに図案を写し、完成目指して主体的に取り組んでいる。	プリント	調査・実践レポート	トートバック完成
後期	食事に計画と調理	季節の旬の食材を生かした調理実習 家族に合った献立作成と調理実習	a:旬の食材探しと旬以外の食材の違いについて調べ、理解し献立を作る。 b:家族の年齢に合わせた食材を探し、班で意見交換を行い、班の献立を作成し調理実習を行う。 c:班で協力して各自主体的に調理実習に取り組む。	レポート(旬の食材を調べる)(個人で献立作成)	実習レポート	実習に主体的に参加し考察する。

	住生活をつくる	・安全な住まい ・持続可能な住まいづくり ・将来もしマンションの 1 室を購入するとしたらどのような間取りの部屋を作れるか	a. 住まいの機能を理解し、日本と世界の住文化について、気候や風土に応じた家づくり・住まい方が発展してきたことを理解している。 健康的な室内環境を作るための要素や維持・管理について理解している。 住宅政策や環境に配慮した住まいなどについて表現している。 b. 日本と世界の住まいの特徴や気候・風土・災害時などの住まいについて、表現している。 c. 住まいの機能、気候風土と住いについて自分の考えをまとめようとしている。また、健康的な室内環境を作るための課題解決に取り組もうとしている。	調査レポート	プリント	レポート 課題

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度